

【2022.12.26 発信 VOL.67】

「進藤金日子メールマガジン」は、ホームページにて配信の申し込みをして頂いた方、名刺交換をさせて頂いた方、報告会等に参加頂いた方等に無料で配信させて頂いています。

VOL.67 は、以下の内容でお届けします。

- 今年の漢字「安」
 - 令和5年度予算の政府原案について
 - 食料・農業・農村基本法の検証について
 - 農地法制の在り方に関する研究会について
 - 「第6回インフラメンテナンス大賞」の受賞者の決定について
 - 「第9回ディスカバー農山漁村の宝」の選定賞授与式について
 - 国土審議会第14回計画部会について
 - デジタル田園都市国家構想総合戦略について
 - 鳥インフルエンザに関する情報について
 - 新型コロナウイルス感染症に関する情報について
 - 各種講演を精力的に実施について
 - 活動状況(2022.12.1～2022.12.23)
-

■ 今年の漢字「安」

参議院議員の進藤金日子です。

・日本漢字能力検定協会は、漢字一字を全国から募集し、ロシアのウクライナ侵略、北朝鮮のミサイル発射など「戦」争を意識、物価高や感染症など身近な「戦」い、サッカーW杯の熱「戦」、野球界での記録への挑「戦」など、今年の世相を表現する漢字一字を、「戦」に決定し、公表しました。

・私の今年の漢字は「安」です。感染症が続く中、ウクライナ危機等により、エネルギー価格や電力料金の高騰、小麦等穀物価格や飼料価格の上昇、肥料価格の高騰、円安の急激な進行による物価の上昇等があり、経済安全保障と食料安全保障に対する意識が更に高まりました。国民の多くが世の中の安寧を願っていると感じていることから、「安」を選びました。

・皆様のご健康とご活躍を祈念するとともに、新型コロナウイルス感染症並びにインフルエンザにもご留意の上、素晴らしい新年をお迎えください。

■ 令和5年度予算の政府原案について

ア. 農林水産関係予算

- ・農林水産省関係の令和5年度予算は、2兆2,683億円です。
- ・食料安全保障の確立と農林水産業の持続可能な成長に向けて、次の重点事項が総合的に実施されます。

(令和5年度農林水産関係予算の重点事項)

- 1 食料安全保障の強化に向けた構造転換対策
- 2 生産基盤の強化と経営所得安定対策の着実な実施、需要拡大の推進
- 3 2030年輸出5兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化、食品産業の強化
- 4 環境負荷低減に資する「みどりの食料システム戦略」の実現に向けた政策の推進
- 5 スマート農林水産業、eMAFF等によるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進
- 6 食の安全と消費者の信頼確保
- 7 農地の効率的な利用と人の確保・育成、農業農村整備
- 8 農山漁村の活性化
- 9 カーボンニュートラル実現に向けた森林・林業・木材産業によるグリーン成長
- 10 水産資源の適切な管理と水産業の成長産業化

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/budget/index.html>

イ. 農業農村整備事業関係予算

- ・農業農村整備事業関係予算の令和5年度当初予算は、4,457億円(対前年比100.1%)です。
- ・農業農村整備事業関係の令和5年度執行可能な予算は、防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策及びTPP対策、食料安全保障対策として、既に成立した令和4年度補正予算において1,677億円を計上し、これらの総額は6,134億円となります。
- ・これらには農業水利施設の電気料金高騰対策も盛り込まれ、地域の要望に応えられる所要の予算が確保できたものと考えております。全国の皆様の熱意の賜と感謝するとともに、次期国会において、予算案、関係法案の早期成立に向けて全力で取り組んで参ります。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい。

https://drive.google.com/file/d/1B1GO3sKFfc69MWVwg_7II4ewzvKjZvg9/view?usp=share_link

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(農水省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html>

ウ. 林野庁関係予算

- ・林野庁関係の令和5年度当初予算は、3,057億円(対前年比102.7%)です。
- ・林野庁関係予算の令和5年度執行可能な予算は、食料安全保障対策、TPP対策及び防災・減災、国土強靱化対策など、既に成立した令和4年度補正予算において1,162億円を計上し、これらの総額は4,218億円となります。
- ・林野公共関係の予算は、令和5年度当初の1,875億円、既に成立した公共事業費695億円と路網の整備・機能強化対策費64億円を合わせて、総額2,634億円となります。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(林野庁ホームページ)。

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/rinsei/yosankesan/index.html>

エ. 水産庁関係予算

- ・水産庁関係の令和5年度当初予算は、1,919億円です。
- ・水産庁関係予算の令和5年度執行可能な予算は、TPP対策、食料安全保障関係対策、防災・減災、国土強靱化対策など、既に成立した令和4年度補正予算において、1,289億円を計

上し、これらの総額は、総額 3,208 億円となりました。

・これは、昨年度の総額(令和 4 年度当初予算と令和 3 年度補正予算の総額 3,201 億円)を上回るものとなっています。

・水産公共関係である水産基盤整備事業の予算は、令和 5 年度当初の 729 億円、既に成立した補正予算 270 億円と合わせて、総額 999 億円となります。

※詳細は、以下のアドレスからご覧下さい(水産庁ホームページ)。

<https://www.jfa.maff.go.jp/j/budget/index.html>

※予算関係の財務省公表資料は以下のアドレスから参照願います(財務省ホームページ)。

https://www.mof.go.jp/policy/budget/budger_workflow/budget/fy2023/fy2023.html

■ 食料・農業・農村基本法の検証について

・12月9日、農林水産省は、食料・農業・農村政策審議会基本法検証部会(第5回)を開催し、「食料・農業・農村基本法の検証・見直し検討について」の審議を行いました。

※詳細は以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/kensho/index.html>

■ 農地法制の在り方に関する研究会について

・12月12日、農林水産省は、農地制度の在り方に関する研究会を開催しました。

・1)農用地等の確保に関する国の関与の在り方及び食料安保の観点に立ったゾーニングの在り方、2)農地の適正利用強化策の在り方(農地の権利取得規制、営農型太陽光発電等)、3)担い手の6次産業化、川下等との連携強化の支援策等、今後の農地法制度の在り方について、有識者等からの意見聴取を月1回程度で開催することとしています。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

https://www.maff.go.jp/j/study/nouti_housei.html

■ 「第6回インフラメンテナンス大賞」の受賞者の決定について

・農林水産省は、他省庁とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組を「インフラメンテナンス大賞」として表彰し、この度、「第6回インフラメンテナンス大賞」の農林水産大臣賞等を決定し、発表しました。

・農林水産大臣賞は、一般社団法人漁港漁場新技術研究会(東京都)、藤村クレスト株式会社(新潟県)。

・特別賞は、岐阜県土地改良事業団体連合会(岐阜県)、新潟県農政部農地建設課(新潟県)、兵庫県加古川流域土地改良事務所(兵庫県)。

・優秀賞は、岩見沢市農政部(北海道)、山形県農林水産部農村整備課(山形県)、磐田用水東部土地改良区(静岡県)、長崎県水産部漁港漁場課(長崎県)、株式会社荏原製作所(東京都)、秋田県立大学(秋田県)です。

受賞おめでとうございます。

※素晴らしい取組みばかりです。是非とも詳細を以下のアドレスからご覧ください(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/sekkei/221205.html>

■ 「第9回ディスカバー農山漁村の宝」の選定賞授与式について

・12月19日、政府は「第9回ディスカバー農山漁村の宝(むらのたから)」の選定賞の授与式を首相官邸で開催しました。

・「ディスカバー農山漁村の宝」とは、自立した「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現に向け、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信することを通じて他地域への横展開を図る取組のことで。

・本年度は616の応募の中から37の団体・個人が選定されました。グランプリは「沖縄UKAMI 養蚕」(沖縄県今帰仁村)で地域のエリ蚕から生産された沖縄シルクをスキンケア商品として加工し、ブランド化して海外進出、廃校利用や農福連携等も行い、地域の課題を解決したことが評価されました。

※他の受賞団体等につきましては、以下のアドレスからご覧ください(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/attach/pdf/221107-1.pdf>

■ 国土審議会第14回計画部会について

・11月17日、国土交通省において、国土審議会第14回計画部会が開催されました。

・国土の刷新に向けた重点テーマについて、1)デジタルとリアルが融合した地域生活圏の形成について、2)人口減少下の国土利用・管理について、議論が行われました。

・人口減少下の国土利用・管理では、農地、森林、宅地、空き地などの土地の管理について、地域住民の取り組みになる「地域管理構想」の取り組みを推進し、全国展開を図ることが示されています。

・国土交通省は、この「地域管理構想」を、次期、「新たな国土形成計画(全国計画)」に反映させ、同全国計画を来年夏頃に閣議決定する予定です。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(国土交通省ホームページ)。

https://www.mlit.go.jp/policy/shingikai/s103_keikaku03.html

■ デジタル田園都市国家構想総合戦略について

・12月23日、「デジタル田園都市国家構想総合戦略」(以下「総合戦略」という)が閣議決定されました。この総合戦略は、第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に改訂したもので、2023年度を初年度とする5か年の戦略です。

・総合戦略においては、「デジタル田園都市国家構想基本方針」(令和4年6月7日閣議決定)で定めた取組の方向性に沿って、デジタル田園都市国家構想が目指すべき中長期的な方向について、達成すべき重要業績評価指標(KPI)と構想の実現に必要な施策の内容やロードマップ等が示されています。

・今後は、総合戦略に基づき、地方の社会課題を積極的にオープンにしつつ、国・地方公共団体・企業・大学・スタートアップ企業・金融機関など多様な主体が地域外の主体も巻き込みながら、連携して取組を推進していくことが期待されます。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(内閣官房ホームページ)。

https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/digital_denen/index.html

■ 鳥インフルエンザに関する情報について

・国内の家きん飼養農場で高病原性鳥インフルエンザが発生しています。鳥インフルエンザに関する情報について掲載いたします。

※詳細は、以下のアドレスから参照願います(農林水産省ホームページ)。

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

■ 新型コロナウイルス感染症に関する情報について

※新型コロナウイルスに関する情報については、以下のアドレスから参照願います。

なお、最新の情報を入手するよう留意願います。

(首相官邸ホームページ)

<http://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>

(内閣官房ホームページ)

<https://corona.go.jp/>

(厚生労働省ホームページ)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

(農林水産省ホームページ)

https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/index.html

■ 各種講演を精力的に実施について

・12月9日、雄勝支部土地改良関係団体役職員講習会に、リモートで「日本の食料と水田農業を考える」と題して、主に米政策の今後の方向についての情報提供を行い、講演を行いました。

・12月17日、徳島県徳島市で開催された「徳島県の農業農村整備を考える集い」において、「日本の食料と水田農業を考える」と題して講演を行い、土地改良への女性の参画の重要性などの意見を伺いました。

=====